

《住民と議会と語る会》

どうするこれからの

サロン倉元・ひまわり室

問：屋外の防災無線が聞こえにくいので対策を講じていただきたい。

放送される内容については再検討すべきではないか。また、静かな音楽などで午前10時と午後3時の時報を知らせてほしい。

答：放送の状態については、担当課で調査の上、必要な場合は早急に対策を講じるよう要請した。放送内容についても再度検討するよう要請した。また、時報の要望については町にないだ。

問：大崎第一中学校跡地について新たな活用法は考えていないのか。例えば、現在実施しているグリーンツーリズム事業は、受け入れ家庭を確保するのに苦慮し

ていることから、旧大崎第一中学校校舎などをグリーンツーリズム参加者の宿泊や活動、また高齢者の自立支援施設としての活用ができないか。なお、管理は地元の方に委託しても良いのではないか。

答：新たな活用法については、現在立地している誘致企業の問題が解決してからのことになると思う。これまでも様々な提案をしてきたが、これからもしっかり議論をしていく。

問：管理がなされていない空き家などについて役場からの指導はできないのか。

答：主要道路に危険が及ぶ可能性があれば補助金が活用できるが、個人の財産であり、建物の解体をすればその宅地の固定資産税減免が解

消されるので、さらに負担が多くなり難しい。

問：ある自治体では、皆が豊かに暮らすための知恵を広く住民に募り、「幸福度チェック」がなされるとのことである。大崎でもこのような手法を参考にしながら素晴らしい町にしたい。

答：住民の方々の様々な意見を聞き集約しながら、これからも町の発展に努力していく。

問：改善センターのトイレが狭い、3基のトイレを2基にして一区画あたりの広さを確保して欲しい。

答：女子トイレの区画の拡大を要望したが、担当課が現地を確認した結

果、他の施設と比較しても狭いと感じられた状況である。なお、町では今後計画的に小中学校のトイレの洋式化をはかり、その他の公共施設についても洋式化を進める計画もあることから、早急な対応は難しい状況であると回答があった。



正坂いきいきサロン